

工事名称：沖縄海岸国定公園阿波連園地トイレ新築工事

所在地：渡嘉敷村字阿波連地内
 工期：H16.11.11～H17.2.28
 構造：木造・一部RC造
 延床面積：22.44㎡
 総工事費：64,103千円



正面（南東）



アプローチ



女子便所前室



車椅子便所

渡嘉敷島の沖縄海岸国定公園阿波連園地の施設整備の一環として設置したトイレです。男子・女子・車椅子の各3つのボックスを木造切妻の屋根で一連にまとめ、シンプルな構成としました。敷地周辺に排水施設が無いため、環境保護に考慮し排水を一切放流しない処理水再利用の、循環式浄化槽を採用しました。

農林水産部

工事名称：農研センター新築工事（エネルギー棟他1棟）

所在地：糸満市
 工期：H16.1.23～H16.7.31
 構造階数：鉄筋コンクリート造 平屋建て
 延床面積：274㎡（エネルギー棟）
 "：30㎡（浄化槽ポンプ棟）
 総工事費：254,100千円



エネルギー棟

基幹施設である本館棟・研究棟に付随する機械設備施設で、上水や電気、ガスを供給する設備の他、停電時のための非常用発電機や、基幹施設の便所洗浄水や屋外散水等の中水利用のための雨水貯留槽及び中水処理設備を有する建築物である。



浄化槽ポンプ棟

生活排水：FRP合併処理浄化槽（54人槽）

実験排水：RC造実験用排水処理施設（処理水量22.5㎡/日）

工事名称：農研センター新築工事（ライシメーター他1棟）

所在地：糸満市

工期：H16.11.11～H17.2.28

構造階数：鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 平屋建て

延床面積：240㎡×2棟（ライシメーター棟）

〃：350㎡（土壌肥料収納調査棟）

総工事費：229,137千円



ライシメーター棟

施用した肥料分、農薬等が地下に溶脱していく量を調査するための施設であり、地下約2mの浸透水を取水できる構造となっている。肥料、農薬等が地下の水環境に及ぼす負荷を把握し、改善していくことを目的とした施設である。



土壌肥料収納調査棟

土壌及び植物サンプルの調整、洗浄、保管、乾燥、調査等を行う。

工事名称：農研センター新築工事（農薬実験棟他2棟）

所在地：糸満市

工期：H16.11.16～H17.3.31

構造階数：鉄筋コンクリート造 平屋建て

延床面積：69㎡（害虫行動解析実験棟）

〃：160㎡（土壌害虫発生機構解析実験棟）

〃：70㎡（農薬実験棟）

総工事費：118,514千円



害虫行動解析実験棟

害虫行動特性の解明及び生フェロモン等、生理活性物質の開発・検定などを行う。これまでもオキナワカンシャクシコメツキムシ、サキシマカンシャクシコメツキ、カンシャシクイハマキで性フェロモンを開発した実績がある。現在、宮古島で大発生して問題となっているミヤコケブカアカチャコガネやリュウキュウクロコガネなどの性フェロモンを開発中である。



土壌害虫発生機構解析実験棟

ハリガネムシやコガネムシ等の土壌害虫の繁殖特性調査、飼育、有効薬剤のスクリーニング試験及び各種土壌型における害虫の発生機構の解明に使用する。



農業実験棟

選択性殺虫剤、低毒性殺虫剤を用いての力価の調査及び害虫の抵抗性の検定に使用する。

工事名称：農研センター新築工事（病害虫収納調査棟）

所在地：糸満市

工期：H16.12.14～H17.3.31

構造階数：鉄筋コンクリート造 平屋建て

延床面積：465㎡

総工事費：101,220千円



病害虫収納調査棟

害虫防除試験用大型野外実験機器類の保管、修理、製作を行う。また農業・肥料等の保管庫に加え、現在の病害虫収納調査室を拡大整理し、一括管理する施設である。また、病害虫が寄生する粗大サンプルの分解・調査・保管・処理も行う。

工事名称：農研センター（研究棟）新築工事（建築1工区）

所在地：糸満市

工期：H16.8.20～H17.3.31

構造階数：鉄筋コンクリート造 4階建て

延床面積：2,231㎡

総工事費：350,154千円



研究棟（建築1工区）

センター全体の研究活動の中心となる施設として、各研究室の研究室や実験室をまとめて配し、実験により生じる特殊排気の処理設備や、実験用ガスを共同利用するなど、合理的に機能の充実を図り、また、間仕切壁を非構造体であるスチールパーティションとし、2スパンごとに設備配管スペースを設けるなど、将来の変化にも対応できる建築物である。



工事名称：沖縄特別自由貿易地域賃貸工場（第6期）新築工事

所在地：うるま市
中城湾港新港地区
工期：H16.12.22～H17.3.31（建築）
：H16.12.25～H17.3.31（電気・機械）
延床面積：4,500㎡
構造・階数：S造、平屋建
総工事費：696,360千円

賃貸工場は、企業立地環境と立地企業への支援を行うとともに、特別自由貿易地域への県内外の企業誘致を促進することを目的として建設されている。当該事業は、平成11年度から始まっており、延べ面積1,000～2,000㎡タイプの工場がこれまで21棟建設されている。



賃貸工場の基本計画

1. 企業のさまざまな仕様に対応可能な工場を計画する。
2. 将来へのフリキシビリティ及びランニングコスト等の長期経済性が確保できる計画とする。
3. 海岸部に面するので、地盤対策、塩害対策・台風対策を考慮した計画とする。

工事名称：中城湾港（西原与那原地区）緑地（Ⅱ）休憩舎新築工事

所在地：西原マリンパーク
工期：H16.11.25～H17.2.28
構造階数：RC造 平屋
延床面積：1178.14㎡
総工事費：202,440千円



西原町と与那原町にまたがる西原マリンパーク内の施設でステージを兼ねた特大休憩舎1棟に、休憩舎（大）が21棟、休憩舎（中）6棟、休憩舎（小）1棟の合計29棟からなるマリンパーク内の休憩所で、屋根に赤瓦を乗せ、沖縄の風土に合ったレジャー施設とした。

工事名称：中城湾港（津堅地区）物揚場（-3.0m）附属施設新築工事



所在地：勝連町津堅地先
 工期：H16.3.19～H16.9.14
 延面積：454.07㎡

愛称：キャロット愛ランドマリナーミナル
 構造階数：鉄筋コンクリート造平屋建て
 総工事費：140,524千円



外部回廊



内部待合所



エントランス部分から中城湾を臨む



内部案内板及び吹き抜け

ニンジンの産地で有名な津堅島と、勝連半島を結ぶ海運の日常的な拠点となっている中城湾港（津堅地区）物揚場（-3.0m）附属施設は、地元から「キャロット愛ランドマリナーミナル」の愛称を与えられ、旅客待合所として多くの人々に利用されている。ファサードは鳥が飛翔するイメージとし、人々がこの島に回帰する思いを込めるとともに、外壁に特産のニンジンカラーをコラーージュした色ガラスを嵌め込み内部の吹き抜けからも楽しめるようにしている。地域の人々の利便性・快適性の向上に加え、バリアフリー及び観光客のさらなる増員に貢献するべく、この施設は建築された。

工事名称：宜野湾緑地トイレ新築工事

所在地：宜野湾市
 工期：H16.12.10～H17.3.20
 構造：鉄筋コンクリート造平屋建て
 延床面積：24.37
 総工事費：24,349千円



このトイレは、宜野湾港マリーナに隣接する約3ヘクタールのシンボル緑地内に位置するもので、緑地で憩う一般市民を対象に建設されたものです。

海に近い施設のため、耐候性及び周辺景観を配慮したものとし、身障者のほか多様な利用者に対応できるように間取りにしています。

工事名称：県営古波蔵市街地住宅耐震補強工事



耐震補強前

所在地：那覇市
 工期：H16.9.30～H16.12.15
 構造階数：SRC・RC造9階建
 総工事費：100,596千円

当県営住宅は、新耐震基準以前の昭和52年に竣工した建物で、耐震診断の結果、耐震性の向上を図るための耐震改修が必要となった。

主な改修箇所は、住棟の桁行方向及び階段棟の桁行、梁間方向であった。

補強工事にあたっては、極力居住者に負担をかけない「居ながら」補強を検討した結果、住棟の外側から鉄骨ブレースで補強する工法を採用した。



補強後

教育庁

工事名称：小禄高校校舎増改築工事

工事名称：小禄高校校舎増改築工事
 所在地：那覇市
 工期：H16.10.1～H17.3.25
 構造：鉄筋コンクリート造4階建て
 総工事費：439,178（千円）
 延床面積：2157.00㎡

本施設は、1階に進路室、カウンセリング室、更衣室、2階に図書館、3階に書道教室、視聴覚教室・スタジオ、4階に音楽教室、レッスン室を配置した特別教室棟である。
 運動場側に開いたL字型の形態で、開放的な雰囲気をめざした。



西側外観



南側外観